

〔平成元年度駐村研究員会議報告・討論記録〕

中山間地域における地域活性化の取り組み

平成元年度駐村研究員会議が2月19日に標記のテーマで開催された。今回の駐村研究員会議の報告者および報告のテーマは以下の通りである。

- (1) 農業振興による村づくり 矢幡欣治（大分県大山町・農業、きのこ栽培）
- (2) 「地域複合生産システム」と「0円リゾート」づくりを目指した「みるくたうん」
開発構想——計画策定に携わって—— 島添美葉子（山口県防府市・（株）みるくたうん設立準備室）
- (3) 山村地域振興のための提言——檜原村での経験から—— 中島 保（東京都府中市・会社員）
- (4) 立地に根ざした多面的生産活動——みちのく小野小町の郷—— 加賀谷多吉（秋田県平鹿町・農業、元農業改良普及員）

司会は村松功巳農村組織研究室長、千葉修農地研究室長の2人があたった。報告に先立ち、所長から「中山間地域における地域活性化の取り組み」というテーマを設定した趣旨の説明があった。その後4人の駐村研究員から報告があり、最後に全体討論を行った。なお、この会議には、稿末の出席者名簿にあるように関係の行政部局や試験研究機関から多数の参加者があったほか、農林団体等の関係からの参加者もあった。

以下は、その報告・討論の記録であるが、報告部分について駐村研究員連絡担当の研究員が必要最小限の手を加えただけで、なるべく忠実に再現し、討論部分については、要約的に整理した。なお、討論部分の整理は連絡科が担当した。